

# DOKIGAWA

リバーキーパーズ

# RiverKeepers



# つうしん

## Vol.237 (令和7年3月)

春の暖かさを感じる今日この頃、リバーキーパーズの皆様はいかがお過ごしでしょうか。4月1日は、エイプリルフールですね。エイプリルフールとは、大正時代に日本に伝わり浸透したとされる、嘘をついてもいいという風習のことです。エイプリルフールの起源は謎が多く、1564年のフランスで1月1日を新年とするグレゴリオ暦を採用した際に反発した人々が4月1日を「嘘の新年」としたことが由来となっている説や、旧約聖書に関連があるとされる説など様々な説が挙げられています。日本では、企業による趣向を凝らしたエイプリルフール広告がX(旧Twitter)などのSNSに投稿され、世間を笑顔にしています。あなたはどんな嘘で笑顔になりましたか？

今月号は、「土器川における水害に強いまちづくり検討会」「イノシシ害抑制野芝工法」についてお知らせいたします。

### 〇土器川における水害に強いまちづくり検討会～緊急事態に備えて～

3月18日(火)、土器川の大規模氾濫による浸水の恐れのある沿川の3市4町(丸亀市、坂出市、善通寺市、宇多津町、多度津町、琴平町、まんのう町)と、香川県、高松地方気象台、国土地理院、香川県防災士会、香川大学、香川河川国道事務所により構成される「第17回 土器川における水害に強いまちづくり検討会」を開催しました。

本検討会では、「土器川の減災に係る取組方針」の令和6年度の実施状況や重点的な取り組みについて報告を行いました。

令和7年度は「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト」の推進、流域タイムラインの運用フォローアップの推進、特定都市河川の指定による流域治水の本格的実践に向けた情報共有の推進を重点的に取り組むことを確認しました。

土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会  
幹事会

Ⅱ

土器川における水害に強いまちづくり検討会



開会のあいさつ



検討会の様子

### 土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会 目的

協議会は、過去の出水の教訓を踏まえ、土器川における堤防の決壊や越水等に伴う浸水被害に備え、河川管理者、県、市町等が連携して減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進することにより、土器川において氾濫が発生することを前提として社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的とする。

## ○イノシシ害抑制野芝工法～イノシシ被害を抑えるために～



土でできた堤防は、イノシシの掘り返し被害で弱体化してしまう

放置すると

大雨のとき

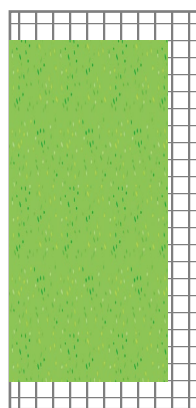
堤防決壊の恐れあり！！

その対策として

### イノシシ害抑制野芝工法を施工



#### イノシシ害抑制野芝工法とは



- ・ 強固なネットが絡んだ芝
- ・ ネット同士を連結して施工する。  
→法面全体が一体となりめくられない。
- ・ 強固なネットにより、根まで掘り起こすことができない。  
→本来の芝が回復する



土器川リバーキーパーズ通信は、皆様のご意見・ご質問に河川管理者としてお答えしていくものです。土器川に関して、気になっていること、わからないことなど、どしどし ご意見をお寄せください。

土器川リバーキーパーズに関するお問合せは



国土交通省四国地方整備局  
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

〒760-8546 高松市福岡町4-26-32  
TEL:087-821-1619(工務第一課直通) FAX:087-821-1713

